

令和 8 年度(2026 年度)第 5 回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：令和 8 年(2026 年)8 月 31 日(月) 午前 10 時 00 分～午前 11 時 04 分

場 所：本部棟 2 階大会議室及びオンライン

出席者：○委員

学長	堤 裕昭	
副学長	山田 俊	
事務局長	加藤 栄一	
文学部長	米谷 隆史	
環境共生学部長	白土 英樹	
総合管理学部長	宮園 博光	
共通教育センター長	西本 陽一	
地域・研究連携センター長	石橋 康弘	(リモート参加)
デジタルイノベーション推進センター長	森山 賀史	(リモート参加)
国際教育交流センター長	モロー ジェフリー スチュワート	(リモート参加)
熊本大学理事	宮尾 千加子	
株式会社エフエム元代表取締役社長	荒木 正博	
熊本県公立高等学校校長会長	前田 浩志	

○事務局

久保田事務局次長、木山新学部設置準備室長、堀口教務入試課長、松崎学生支援課長、山下地域・研究連携センター事務長、嶋川教務入試課入試班長、藤本教務入試課教務班参事、森木教務入試課教務班主事

○上記以外の出席者

環境共生学研究科長 柴田 祐

○監事

弁護士 塚本 晃大

○欠席監事

公認会計士・税理士 吉川 栄一

1 開会

2 学長挨拶

学長挨拶の後、本田監事の後任である、塚本監事が紹介され、同氏から挨拶があった。

3 議事

(1) 審議事項

- ① 令和 8 年度(2026 年度)春季入学(秋季募集)入学者選抜(大学院環境共生学研究科博士前期課程)における合格者の決定について

事務局教務入試課から、資料 1-1 に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・ 20 名の募集に対し、一般選抜 8 名、社会人特別選抜に 1 名、計 9 名の志願があり、8 月 22 日(土)に入学者選抜を実施した。
- ・ 8 月 25 日(火)開催の環境共生学研究科委員会において、合否判定がなされた。
- ・ 本会議で承認いただけたら、本日 13 時 30 分から合格発表を行う予定。

- ・なお、今年度から既に推薦選抜を実施しておりこちらでは5名がすでに合格している。
- ・続いて、柴田環境共生学研究科長から、資料1-2, -3, -4に基づき、以下のとおり説明があった。
- ・一般選抜（国際協力枠を除く）については、7名受験で、英語については外部試験の点数を換算している。合格基準は総点6割以上であり、全員合格基準を満たしている。このため、受験者7名を合格としたい。
- ・続いて、一般選抜の国際協力枠については、1名受験し、合格要件を満たしているため合格としたい。
- ・社会人特別選抜については、1名受験し、合格要件を満たしているため合格としたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

② 半導体学部（仮称）の設置に伴う総合管理学部の定員変更及び学則の改正について
学長から、資料2に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・後ほど、報告事項の議題でも述べるが、皆様の多大なるご協力の下、8月28日付で文部科学大臣から設置が認可された。
- ・これに伴って、総合管理学部の定員を280人から60人減とするという規則の改正を行うことをご審議いただきたい。
- ・これに関しては、今後経営会議及び理事会にも承認をいただくことになる。
- ・資料の、1 変更事項、および今後のスケジュールをご覧いただきたい。また、学則の変更については最後の新旧対照表をご覧いただきたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

③ 学生の懲戒処分について

事務局学生支援課から、資料3に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・熊本県立大学懲戒規程第7条第1項に基づく懲戒処分について審議をお願いするもの。
- ・処分としては、訓告処分としたいので、ご審議をお願いする。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

④ 間接経費率の改定について

地域・研究連携センターから、資料4に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・地域・研究連携センターの財源確保のため、間接経費率を現行の15%から他の大学に合わせるべく30%への引き上げを審議頂くもの。
- ・見直しイメージ案を2ページに示しており、ご承認いただけたら、スケジュール案のとおり、規程改正を行い、今年度下半期以降に採択される受託研究・共同研究等

から順次適用開始する予定。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

⑤ 学術コンサルティング制度の導入について

地域・研究連携センターから、資料 5 に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・ 物価や高熱水道費の高騰する中、教員の教育研究環境を改善するために学術コンサルティング制度を導入したいので、審議をお願いするもの。
- ・ 研究室での予算の確保や民間への専門知の還元、事務負担の軽減等を目指すもので、制度化を目指している。
- ・ 次ページに図でスキームを示し、他の調達方法との違い等を説明している。また、他の大学の状況も表で示し、直接経費間接経費率の設定や、教員へのメリットは資料のとおり。
- ・ ご審議了承いただけたら、令和 8 年度下半期以降の運用を予定している。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

(2) 報告事項

① 半導体学部を設置認可申請に対する審査結果について

事務局新学部設置準備室から、資料 6 に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・ 令和 8 年 8 月 28 日付で文部科学省から認可された。認可にあたっては、付帯事項が 5 点付されている。これらについては全て遵守事項となっている。詳細は表でまとめているので、後程ご覧いただきたい。

4 その他

次回日程

令和 8 年度(2026 年度)第 6 回 9 月 14 日(月) 午後 2 時 30 分～ 本部棟大会議室

5 閉会